



国内にとどまらず、世界に通用する人材の育成を目指して力を注いできました。この5年間の中で、海外へ留学した人も国内で職を得た人も多くいます。世界から注目されるような、スタンダードを自分で確立して発信し、それが認められれば自ずと羽ばたいていき、世界でも認められる研究者へと成長していくのです。

発生医学研究所  
生殖発生分野

山田 源  
Gen Yamada

Researcher is...

研究者とは、研究を楽しみ、プロとして世界レベルの研究を追求するもの。楽しむことと厳しさも認識する、このバランスをうまくとれる人が“研究者”です。

世界をリードする  
細胞系譜制御の  
研究者たち。

Researcher is...

研究とは、サイエンスに限らず本質的に人類が持っている真理への欲求の現れ。悟りを求める求道と異なるのは、それが極めて社会的営みであること。だから、研究者はその探究の答えをオープンにする義務が本質的にあります。私は、たまたまサイエンスを用いて何かの真理が私の腑に落ちることを願っているのです。



転写因子であるFoxo1が血管の恒常性に必要であることは分かっていたのですが、最近では血管ができる際にも必要な因子であることが分かってきたことが、この5年間の成果です。このFoxo1がどの遺伝子を支配し血管形成を調節するのか明らかにし、血管構築の仕組みを解明することを目指しています。

発生医学研究所  
組織幹細胞分野

小川 峰太郎  
Minetaro Ogawa

Researcher is...

研究者は、好きなことを追求しつつも、社会に貢献してかなければなりません。何事にもいえることですが、社会に害があるようなことがあってはならないのです。

生命科学研究所  
生命倫理学分野



Atsushi Asai

若手研究者には、社会性を認識しながら研究に取り組んでいってほしいと思っています。理想は、RCR(レスポンシブル・コンタクト・リサーチ)。ちゃんとした研究をできるように態度と認識を持ってもらいたい。発生再生の分野は、将来的にみてもインパクトの大きな分野です。このことを認識して、研究を進めてほしいですね。

Researcher is...

研究者とは、自分の好きなこと、得意なことを深めることで世の中の役に立つことを生み出し、それを伝える能力を持った人のことです。

生命科学研究所  
小児科学分野

中村 公俊



Kimitoshi Nakamura

他のラボとの交流や外国へ出る機会を持てたことが大変良かった。ただ、学生をサポートするこの試みの発展を期待していましたが、今後これが縮小されるのはいかにも残念ですね。そして、研究はヒトに依存することをあらためて実感。優秀な人材をリクルートするための課題を再認識することもできました。

生命科学研究所  
神経化学分野

田中 英明  
Hideaki Tanaka

Researcher is...

自分が興味を持つことに問題を設定し、それを明らかにしていく達成感が持てる研究者という職業は、楽しみの多い恵まれた職業です。

臨床系のユニットであるわれわれが、基礎系のラボと関わりが持てたことは、グローバルCOEならではのことでした。また学外や他分野の研究施設と共同研究を行い、研究を進展させることができたことは大きな成果です。学内にとどまらず、留学する学生もいたり、この良い研究の流れが今後も続いていけば大きな財産になると思います。

Thanks  
a lot  
G-COE!

グローバルCOEが始まった頃は、各分野のRAが集まっているいろいろな意見を出しながら、よく話し合いをしていたことを思い出します。それぞれ分野が異なるので、意見がまとまるのは大変でした。私の場合は、子育てと研究の両立が大変でしたが、同じ女性研究者である桑教授の存在は大きく、とても心強かったです。グローバルCOEにはさまざまな面からサポートしていただきました。女性が働きやすい支援体制や環境整備が今後も進んでいくことを期待します。

COE  
リサーチ・アソシエイト  
井上 みゆき

Miyuki Inoue



共同研究の支援を受けて、日本に数台しかない機器を使った研究ができたり、学会に参加することができたりと、自分の研究を進展させることができました。学会ではポスター賞をいただき、その成果を評価していただきました。研究者とは、自分の興味のあることにもすごくマニアクに入り込める人のことだと思います。これからも、自分の研究にマニアクに取り組んでいきたいです。

COE  
リサーチ・アソシエイト  
野井 健太郎

Kentaro Noi



グローバルCOEで一番思い出深いことは、サマー・リトリート・セミナーです。他のラボの人の研究を知ることができたこと、有名な研究者の発表を聞くことができたのは貴重な体験でした。私自身もポスター発表を行なって、とても勉強になりました。研究は成功ばかりではなく、失敗することもあります。それはそれで面白い。これからも、仮説を証明する研究の面白さを追求していきたいです。

COE  
リサーチ・アソシエイト  
三木 梨可

Rika Miki



"Being a research associate of the Global Center of Excellence (GCOE) Program gave me the opportunity to present my results in domestic and international meetings, meet people of similar/related research interests, and receive important comments and suggestions that widen and improve the scope of my research. I greatly appreciated the GCOE program for its highly valuable support of my project."

COE  
リサーチ・アソシエイト

Mylah Villacorte



5年間で印象に残っていることは、サマー・リトリート・セミナーで生命倫理に関するワークショップを毎年開催することができたことです。準備には一カ月ほどかかって大変でしたが、分野の異なる研究者が60人ほど集まって、共に生命倫理について考えられたことはとても良かったと思います。また、このグローバルCOEで浅井先生はじめ、新しいことにどんどん取り組んでいく皆さんの素晴らしい研究者に出会えたことが一番の財産です。

COE  
リサーチ・アソシエイト  
會澤 久仁子

Kuniko Aizawa

